



三陸の新鮮で安全な海産物をいつまでも
(山田魚市場の水揚げの様子)



田村剛一議員

環境保全

放射能汚染から三陸を守れ

漁業・健康被害の防止に取り組む

質問 青森県六ヶ所村の核燃料再処理工場が試験操業を始めたことにより、三陸の海が放射能で汚染される心配が出てきた。町村会でも市長会と同様、県や原発に対し、監視体制の強化、住民説明会の開催などを申し入れるべきではないか。

沼崎町長 沿岸市町村長は四月二十五日再処理工場

を視察し、県内説明会の開催を要請するとともに、住民を代表し不安を表明してきた。六月二日には知事との懇談の場で、日本原燃に県内での説明会開催と沿岸でのモニタリングの実施を要請すること、同様に県独自でのモニタリングの実施を要望した。

町村会でも五月二十九日

町の考えを聞く

児童育成

学童保育の整備拡充

次世代育成支援計画の中で検討

の会議で市長会と同様の申し入れをすることを決定。今後も、放射能による漁業被害、健康被害を未然に防

止するため取り組んでいく。**質問** 「三陸の豊かな海を守る会」では、放射能を海に流すことを規制する法制定に向け取り組みを進めるとしている。町長にも賛同を。

沼崎町長 市民団体の運動にすぐるのは自治体としてどうか。沿岸の首長と協議しながら進めたい。

質問 町民の間から学童保育の整備拡充を求める声が出ています。子育て支援、子供を守る安全対策の面からも、学童保育の整備拡充は急務と思われるがどうか。

沼崎町長 学童保育は昼間保護者のいない小学校低学年の児童を対象に、学校の空き教室や児童館などで放課後、遊びや生活の指導をするもの。

本町では、轟木児童館と山田南小学校の空き教室で実施しており、南小学校に

は北小学校からの児童も受け入れている。また、昨年策定した「やまだまち次世代育成支援計画」でも整備充実を目標としており、拡充の実現に向け努力する。

質問 南小での学童保育は、児童数が定員の四十人を超えていると聞く。北小を含め二カ所以外にも拡充すべきと思うがどうか。

沼崎町長 具体的には言えないが、次世代育成支援計画の中で前向きに検討していきたい。